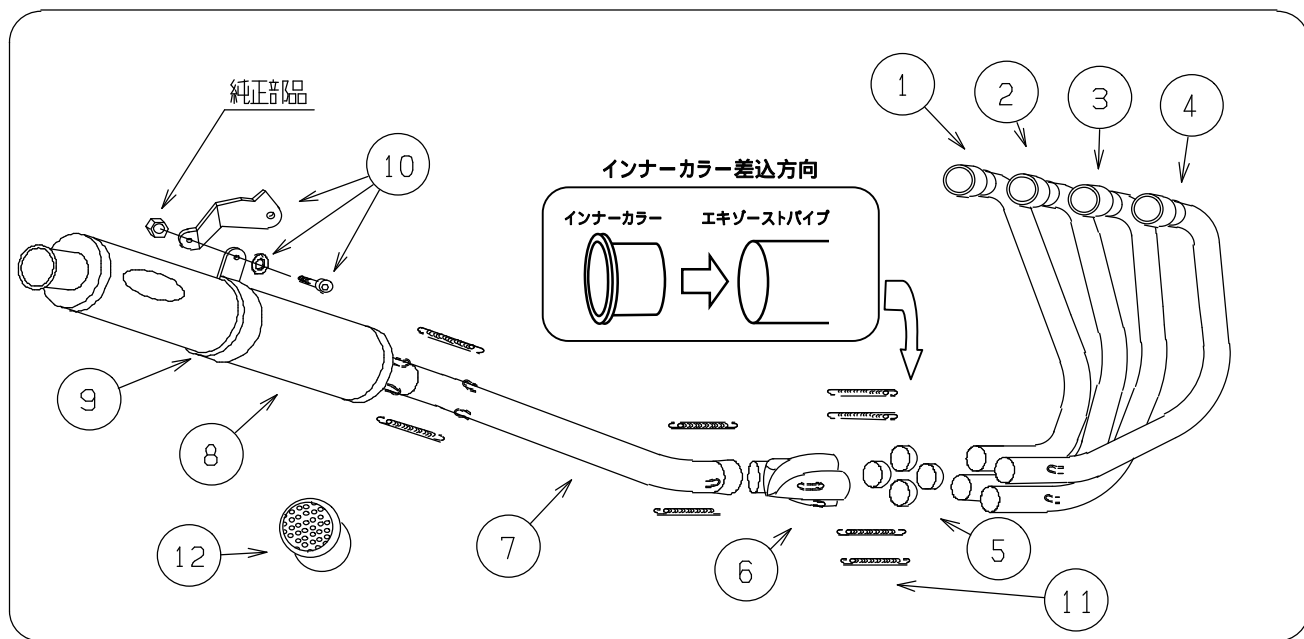


この度は、ノジマ FASARM マフラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
マフラーの取り付けに関しましては、メーカーサービスマニュアルとこの説明書をよくお読み頂き、必ずエンジンが冷えた状態で作業を行って下さい。適合車種は、Z1000 07 用 となっております。その他の機種には取り付けられませんのでご注意ください。取り付け作業に、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。



1. スタンダードマフラーを取り外します。

排気バルブを駆動しているワイヤーを取り外します。まず、Rサスペンション後方にあるワイヤー調整ナットを緩めます。左側サイドカバーを取り外し、中の駆動用のプーリーからワイヤーのみを取り外します。次に、マフラー脱着時の作業性確保のため、右アンダーカウルとアンダーカウルステーを取り外します。

エキゾーストパイプフランジ部のナットと右テールパイプステー部1箇所のボルト、ナットをはずし、スタンダードマフラーを取り外します。左側ステッププレートにあるサイレンサー取り付け部のゴムラバー、カラーは脱落防止のため取り外しておきます。取り外したボルト、ナット類は再使用しますので無くさないように注意して下さい。また、ガスケットは新品に交換して下さい。

2. マフラーを取り付けます

a エキゾーストパイプのエンジンへの取り付け

エンジンにエキゾーストパイプ No1, No2, No3, No4 を取り付けます。この時、フランジ部のナットは仮止めの状態(取り付けパイプが少し動く程度)にしておいて下さい。(~ の識別シールは装着後では剥し難いため、番号確認後、組付け前に剥すことをお勧めします。続いて取り付ける集合部も同様に行ってください。)

b リストラクター、スパイラルコレクターの取り付け

No1 ~ 4の各エキゾーストパイプにインナーカラーを挿入します。(インナーカラーは性能確保のため大変重要です。必ずエキゾーストパイプに取り付けてください。)スパイラルコレクター(以下SC)の差込部内側にシリコンボンド等を薄く塗布し、SCをエキゾーストパイプの番号に合うように注意して差込んでください。この時、オイルパン及びアンダーカウルステーと集合部とのクリアランスが小さいので、注意して位置決めを行ってください。入りにくい場合は、一旦アンダーカウルステーを取り外し、エキゾーストパイプを少しずつ押し込みながら、マフラー全体を揺らすようにして押し込んでいくと、入り易くなります。アンダーカウルステーを装着した状態で位置を確認したら、スプリング(4本)をかけます。

	部品名	数量
1	エキゾーストパイプ No 1	1
2	エキゾーストパイプ No 2	1
3	エキゾーストパイプ No 3	1
4	エキゾーストパイプ No 4	1
5	インナーカラー	4
6	スパイラルコレクター(SC)	1
7	テールパイプ	1
8	サイレンサー	1
9	サイレンサーバンド 帯ゴム	1 1
	サイレンサーステー	1
10	ボルト M8x20 ワッシャー M8	1 1
11	スプリング	8
12	パッフル	1

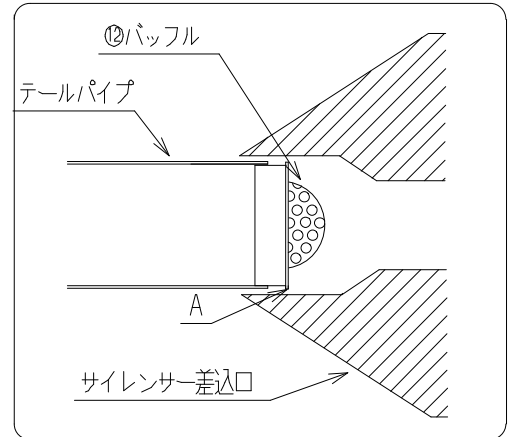
c テールパイプの取り付け

次にテールパイプの差込部内側にシリコンボンド等を塗布し、S Cへ差し込みます。テールパイプとリアサスペンションのリンクナットのクリアランスが小さいので、注意してください。最後に、オイルパン アンダーカウルステー リンクナットの3箇所とのクリアランスを再度確認します。最後にS Cとテールパイプにスプリング(2本)を掛けます。

d バッフルの取り付け (この工程は必要に応じて行ってください) ここでは、

バッフルの装着方法を示します。音量が気になる方、マフラーの特性を中速よりに変更したい方はお試し下さい。(このマフラーはバッフルを装着しない状態でJ M C Aの認定試験をパスしており、別途添付されている認定カードはバッフルを装着しない状態の数値を示しています。バッフル装着により、近接排気騒音値がさらに2db程度低減されます。)

右図を参考にして、付属のバッフルをテールパイプに差し込みます。この時、A部の“つば”部分がテールパイプの端面に引っかかり、バッフルがテールパイプの中に入り込まないように設計されています。確実に装着できているかを確認してください。バッフルを装着した状態での長時間、高速走行は避けてください。



e サイレンサー / ステーの取り付け

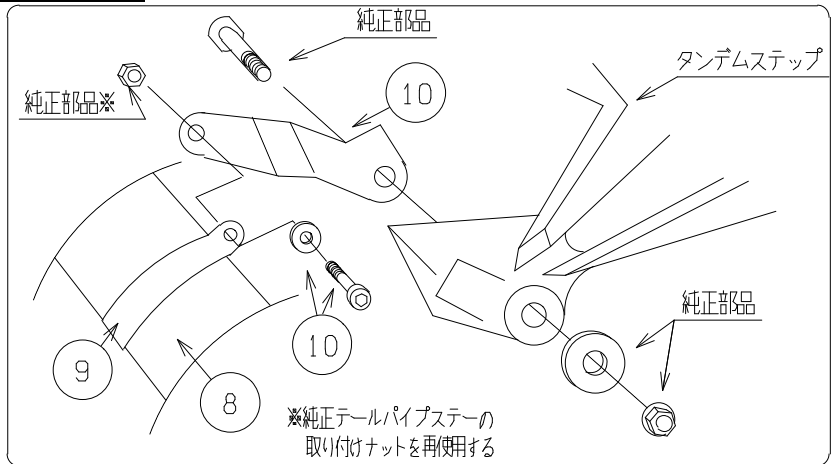
付属のサイレンサーステーをステッププレートの内側へ純正ボルト、ワッシャー、ナットを使用して取り付けます。次にテールパイプにサイレンサーを差し込み、サイレンサーとテールパイプにスプリングを掛けます。次に、サイレンサーにサイレンサーバンドを後ろから差し込み、付属のボルト、ワッシャーと純正マフラーのセンターパイプを取り付けていたナット()を再使用して、仮止めして下さい。

f フランジの締め付け

仮止めしたフランジ部のナットを本締めします。この際、フランジ部が傾いたりしないよう、左右のナットは均等に締め込んで下さい。また、締め過ぎはスタッドボルトの破損を招きます。ご注意下さい。

g サイレンサーの本締め

サイレンサーステー、サイレンサーバンドのボルト、ナットを本締めして下さい。このとき、オイルパン アンダーカウルステー リンクナットの3箇所とのクリアランスに特に注意しながら再度位置決めしてください。



3 最終確認

以上で作業は終了です。マフラーに付着した汚れをよく拭き取ってからエンジンを始動して下さい。エンジンを始動したら、車体への干渉、排気漏れ等がないかどうか再度確認して下さい。最後に取り外したカウル類を装着します。

4 インジェクションセッティングについて

ファサームマフラーはスタンダードの状態での性能を発揮するよう設計されております。従ってセッティングの必要はありません。

! 注

グラスウールは消耗品です。グラスウールの消耗、劣化が原因で音量が徐々に大きくなり、さらにサイレンサーが故障する場合があります。音量が大きくなってきたら、当社グラスウール交換をご用命ください(有償)。グラスウールの交換はお近くの販売店までご依頼ください。走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷に気を付けてください。純正のマフラーと比較すると、最低地上高が低くなっていますので、路面の段差等にはご注意ください。本製品はJ M C Aの認定を受けております。(バッフル無しの状態合格) 車検時は同梱の排出ガス試験成績書の提出が必要です。重要な書面ですので紛失しないように注意してください。

事故や転倒による修理につきましては、お受けできるケースと修理不可能な場合がありますが、ご依頼の際は一度お電話にてお問い合わせ下さい。その他、マフラー、オートバイなどに関して質問がございましたらお気軽にご連絡下さい。